

令和5年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標1 文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る

施策の方向性		関係課 (集約・報告)	令和5年度		令和5年度		評価				課題と今後の方向性
			実施区分	取組内容	取組結果・実績数値		R2	R3	R4	R5	
基本方針① 気軽に文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る。	丹波市（県を含む）ならではの文化ホールイベントの充実	■市民のニーズや目的に合った特色ある文化ホールイベントの充実を図る。	丹波の森公苑	●丹波の森公苑（県）主催自主事業、シュールベルティアーデたんば（ホールコンサート、街角コンサート、ふるさと音楽ひろば、キン・コン・カン・コンサート）を実施する。	【自主事業】 ・ホールコンサート1事業（スーパーキッズ・オーケストラ クリスマスコ ンサート12/23）357人 【シュールベルティアーデたんば】 ・ホールコンサート1事業（ガラコンサート11/12）276人／R4:202人 ・街角コンサート10会場／R4:6会場 ・ふるさと音楽ひろば10校／市内小学校／R4:5校 ・キン・コン・カンコンサート2校／市内中学・高校／R4:1校		B	B	B	A	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の類型の見直しにより、街角コンサートやふるさと音楽ひろばの実施もコロナ禍前に戻っている。 今後も、積極的なホール利用を図り、活性化を進める。
			文化・スポーツ課	●文化ホール自主事業、アマチュアアーティスト育成支援事業、映画会、ピアノ試奏会等の事業を実施する。	自主事業10事業/R4:9事業 ・アマチュアアーティスト育成支援事業 4フェスタ実施/R4:4フェスタ実施 ・映画会:3回/R4:3回 ・ピアノ試奏会3回実施 95日間 290時間 第68回:124時間 第69回:119時間 第70回:47時間 ／R4:3回実施 55日開催 255時間		B	A	A	A	アマチュアアーティスト育成支援事業をはじめ、本市ならではの文化ホールイベントができています。今後は市直営から民間団体へホール運営を委託することになるが、継続して実施する。
	市民の作品展示機会の提供	■気軽に植野記念美術館に行けるように、作品発表をしたい方に展示の機会を提供する。	社会教育・文化財課	●美術館の2F研修室ギャラリーを利用して作品を発表する機会を提供する。	・研修室ギャラリー使用:13日間 「第5回UEBIART展 画業半世紀の回顧 木寺明展」(前期・後期)		A	A	A	A	今後も研修室をギャラリースペースとして市民の芸術文化の発表の場として提供する。
	鑑賞・体験がしやすい環境の充実	■文化ホールイベント(講演会等含む)での手話通訳・要約筆記・託児所等の充実を図り、鑑賞・体験がしやすい環境を整える。	丹波の森公苑	●必要に応じて手話通訳・要約筆記の導入、託児所の設置を行う。	・手話通訳(自主事業0回)総事業数1回、(貸館事業2回)／総事業数2回 ・要約筆記(自主事業0回)総事業数1回、(貸館事業2回)／総事業数3回 ・託児所(自主事業0回)総事業数1回、(貸館事業0回)／総事業数0回		C	C	D	C	ホールイベントの内容等に応じ、必要がある場合には手話通訳等の導入を図っていく。
			文化・スポーツ課 ※丹波市事業	●必要に応じて手話通訳・要約筆記の導入、託児所の設置を行う。	・手話通訳(市主催事業 3回)／総事業数 65回 ・要約筆記(市主催事業 3回)／総事業数 65回 ・託児所(市主催事業 0回)／総事業数 65回		D	D	D	C	子育て世代を対象とした講演会を開催する場合など、必要に応じて託児所の設置を行う。 講演会の時、手話や要約筆記をつけることは、合理的配慮の取組となるため、今後は増えていくと思われるが、自主事業においても、必要に応じて手話通訳と要約筆記の配置を検討する。
			文化・スポーツ課 ※団体貸館	●必要に応じて手話通訳・要約筆記の導入、託児所の設置を行う。	・手話通訳(貸館事業 0回)／総事業数 36回 ・要約筆記(貸館事業 0回)／総事業数 36回 ・託児所(貸館事業 0回)／総事業数 36回		D	D	D	D	子育て世代を対象とした講演会を開催する場合など、必要に応じて託児所の設置ができる環境を整える。 講演会の時、手話や要約筆記をつけることは、合理的配慮の取組となるため、今後は増えていくと思われるが、貸館事業においても、必要に応じて手話通訳と要約筆記の配置ができる環境を整える。
	市民に対する周知事業の推進	■10ヶ寺もみじめぐり事業等、市内の文化芸術を再認識できるような取組の充実をさらに進める。	観光課 ※観光協会 ※観光課	●もみじめぐり事業を12ヶ寺に拡充、また、新たに春から夏にかけて新緑の「丹波青もみじめぐり」事業をする等、市内の文化芸術を再確認できる取組みを継続する(丹波市観光協会) ●観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの積極的な情報発信等(観光課)	・もみじめぐり事業を12ヶ寺に拡充、また、新たに春から夏にかけて新緑の「丹波青もみじめぐり」事業により、市内周遊と文化芸術を再確認できる取組みを継続した。(丹波市観光協会) ・観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの積極的な情報発信等(観光課)		B	B	B	B	観光協会実施の「もみじめぐり」により、市内周遊と歴史文化に触れる取り組みができた。(もみじめぐり来訪者数57,921人) 観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの情報発信を行ったが、SNSでの発信回数を増やし積極的に情報発信をしていくことが必要である。
	音楽コンサート事業の充実	■丹波の森 国際音楽祭 シュールベルティアーデたんば(街角コンサート)の充実を図る。	丹波の森公苑	●シュールベルティアーデたんば「街角コンサート」を実施する。	【シュールベルティアーデたんば】 ・街角コンサート 市内10か所で開催		D	D	B	A	引き続き、丹波地域の方々に本物の音楽を身近で体感いただけるよう「街角コンサート」を開催する。
基本方針② 市民自らが丹波市の文化芸術の良さを再認識する。	情報発信力の強化	■文化芸術について、自治協議会や文化継承の活動に取り組む団体情報や活動情報等を一次的に発信できる仕組みを構築し、市民が文化芸術活動に触れる機会を増やす。	市民プラザ (市民活動支援センター)	●市民プラザの掲示物を充実させるほか、HPやSNSを活用し市民活動団体の活動内容や情報発信を強化する。	施設内の掲示の工夫や掲示物を定期的に更新し、各団体の活動について情報発信を行った。		D	D	B	B	施設の特性上、文化芸術に関する情報発信を十分には行えていない。掲示板を活用した文化芸術活動に関する市民活動情報の発信の方法を検討していく。
	地域づくり事業の支援	■丹波市地域づくり交付金、丹波市活躍市民によるまちづくり事業応援補助金等を活用し、地域における歴史や文化芸術活動を継承するために、地域独自の取組を支援する。	市民活動課	●市民が各地域の特色ある歴史や文化に触れ学ぶ活動に対して、地域づくり交付金や丹波市活躍市民によるまちづくり事業応援補助金を交付することで支援を行う。	・自治協議会の歴史をめぐる活動支援(地域づくり交付金) 8自治協議会 ・自治協議会の文化祭等の活動支援(地域づくり交付金) 9自治協議会 ・歴史や文化芸術に関する活動支援(活躍市民によるまちづくり事業応援補助金) 6団体		D	A	A	A	各地域が独自の取組を実施されており、住民が歴史・文化芸術に触れる機会の提供につながっているため、今後も支援を継続する。
	県市連絡会の開催	■イベントに適した時期や事業内容が重なるため、年3回程度、県市連絡会を開催し、可能な限り連絡調整を行う。	文化・スポーツ課 ※丹波の森公苑 ※丹波市	●年3回程度、県市連絡会を開催し、年間の事業スケジュールの確認調整や、開催事業内容の確認、施設の管理運営に関する情報共有を行い、全体の事業バランスを可能な限り調整する。	・連絡会の開催回数0回 ※未実施		D	D	D	D	県と市で連携し、情報共有しながら、地域の芸術文化の発展につながるような取組を考える。
基本方針④ 文化芸術の広域交流を進める。	市外のアーティスト等の舞台公演の開催	■他市で活動する劇団やアーティストの舞台公演の開催を検討する。	文化・スポーツ課	●豊岡市の芸術祭等と連携し、市外の芸術文化団体の丹波市公演実現に向け、具体的調整を行う。 他市で活動が盛んな団体やアーティストの調査を行う。	・他市との事務調整会議の開催0回 ※未実施 ・県下、他市の団体調査数0団体 ※未実施		D	D	D	D	豊岡市や他市の文化芸術活動が盛んな団体やアーティストを調査、把握する。
	美術展・展覧会の充実	■丹波アートコンペティション等の展覧会で、他市展覧会の受賞作品交流展の開催を検討する。	文化・スポーツ課 ※社会教育・文化財課	●展覧会が終了している他市を調査し、受賞作家の情報提供と、交流展を通して他市との文化交流の基盤整備を行う。	・他市の展覧会調査0件 ※未実施		D	D	D	D	丹波アートコンペティションの事業として、展覧会時に他市との交流展を考えているが、その展示スペースの確保が困難であるため時期をずらす、会場を変えるなどを検討する。 また、他市の展覧会も調査し、参考にしながらよりよい展覧会を開催する。 引き続き、本市における前年度新人賞受賞者展を開催することとし、他市の交流展開催については開催を検討する。
	市外のアマチュア出演者の参加促進	■アマチュアアーティスト育成支援事業に市外出演者の参加を促し、市内出演者と観客との交流やネットワークづくりを行う。	文化・スポーツ課	●市内外出演者(団体)のプロフィールや情報(FBやHP)を公開し、観客が直接出演者(団体)とHPやSNSを通じたネットワークづくりに取り組む	・団体情報公開承認団体数0団体 ※未実施 ・HP/SNS等情報発信協力団体0団体 ※未実施		D	D	D	D	アマチュアアーティスト育成支援事業は、市内出演者だけでなく、市外からの参加もある。互いに交流していくために、舞台出演団体の登録を行い、SNS等を利用した団体のPRや、登録団体のHPを作るなどネットワークづくりに取り組む。

【評価】
A:実施済みで十分に成果を上げている
B:実施済みである程度成果を上げている
C:実施済みであるが、あまり成果が上がっていない
D:未着手又は実施が困難な状況であった

令和5年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標2 文化芸術活動が活発に行える環境の整備を行う

施策の方向性		関係課 (集約・報告)	令和5年度		令和5年度		評価				課題と今後の方向性
			実施区分	取組内容	取組結果・実績数値		R2	R3	R4	R5	
基本方針① 文化芸術活動を行う後継者の育成を行う。	文化芸術活動者の育成	■団体の活動を若い世代に発信し、活動者の育成を行う。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※関係団体	継続	●丹波市文化協会、丹波郷土民踊保存協会、丹波市俳句協会、丹波文化団体協議会の活動を、HPや広報、情報誌等を活用し、見える化を行う。	・HP、広報における団体事業(活動)紹介 3事業 (総合文化祭、民踊のつどい、たんば青春俳句祭) ・丹波文化団体協議会の活動広報は丹波の森公苑で実施	D	D	C	C	各団体とも高齢化等により、会員数が年々減少している。子どもたちや若い世代に向けての後継者を確保していくため、HPやSNSを活用して活動紹介や魅力を積極的に発信していく。
	後継者育成に関する研修会・講演会の開催	■文化芸術活動の「魅力」を伝える等、各種団体への後継者育成に関する研修会・講演会を開催する。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※関係団体	継続	●後継者の育成が喫緊の課題となっている文化協会、郷土民踊保存会の各理事会で課題を共有し、後継者育成のために必要な取組の具体化を図る。 ●団体の既存予算内で、後継者育成研修会等を実施し、会員のモチベーションアップを目指す。	・文化協会常任理事会での協議回数 1件 ・郷土民踊保存協会会長会での協議回数 1回 ・後継者育成研修会の実施回数 0回(文化協会) ・後継者育成研修会の実施回数 0回(郷土民踊)	C	D	D	D	会員の高齢化等により、会員数の減少や後継者の育成についての課題は共有されている。 後継者育成のために必要な研修や話し合いを進めていく。
	文化芸術活動団体への支援	■文化芸術活動を行う団体への支援(補助)を継続的に行う。	文化・スポーツ課 ※丹波の森公苑他	継続	●文化芸術活動を行う団体へ補助金を交付し、その活動や補助金等の取扱いについて、事務局としての支援を行う。	【丹波市】生涯学習推進団体補助金 ・補助金交付団体/4団体/R4:4団体 ・負担金交付団体/1団体/R4:1団体 【(公財)兵庫丹波の森協会丹波の森公苑】 (文化活動交流会) ・丹波地域文化団体によるステージ発表(12/10)480人／R4:669人(ふるさとの心をうたう丹波音楽祭) ・丹波地域音楽団体による合唱祭(11/26)580人／R4:490人(丹波地域文化フェスティバル) ・地域内の文化団体による体験コーナーや芸能発表(8/6)336人R4:247人	A	A	A	A	【丹波市】 各団体が継続的・積極的に活動できるよう支援していく。 【(公財)兵庫丹波の森協会丹波の森公苑】 引き続き、地域の文化団体の活動支援を行う。
	舞台運営オペレーターの育成	■舞台運営等を担うオペレーターの養成講座(全12回/年)を実施し、人材を育成する。	文化・スポーツ課	継続	●舞台、照明、音響、フロアの4部門のスタッフを育成するため、技術職員が講師となって全12回の養成講座を実施する。	・文化芸術に触れる機会として文化芸術体験講座「はじめの一步」としてオペレーター養成講座を1回(全16講座)実施した。 ・10名受講(R4:1回目(前期)2名受講、2回目(後期)2名受講。) ・オペレータークラブZEROーⅣ入会8名(R4:3名)	A	B	B	A	令和6年度以降は、ホール運営業務の受託業者である一般社団法人ネクストゼロが主体となって、オペレーター育成講座を実施し、人材育成に努める。
	アマチュアアーティスト育成支援事業の推進	■アマチュアアーティスト育成支援事業の各フェスタ(バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓)について、継続して企画・運営を担える職員の育成を行う。	文化・スポーツ課	継続	●ホール技術職員を含め、舞台サポートを中心に各フェスタについて、企画・運営する職員体制を整える。 ●ホール技術職員は、知識と技術向上のための研修会を実施する。	・フェスタ共通の事務職員1名/R4:1名 ・技術職員研修実施回数0回	B	D	C	C	令和6年度以降は、ホール運営業務の受託業者である一般社団法人ネクストゼロがアマチュアアーティスト育成支援事業実行委員会事務局を担うため、専門的な知識と技術を持ったホール技術者が担当することから、安定的な運営体制が整っている。
	地域研究会への事業支援	■各地域の郷土史研究会・史実研究会等が主体的に活動できるための事業支援を行う。	社会教育・文化財課	継続	●郷土史研究会等が研究成果を発表できるミニ企画展等を開催する。	・市島民俗資料館において市島史実研究会の研究成果を展示するとともに、市島歴史講座において、市島史実研究会の研究成果の講演を行った。展示1回、講座3回。	B	A	B	A	今後も郷土史研究会等との連携、研究成果を発表する機会を提供できるように支援する。
基本方針② 文化芸術活動への参加促進を図る。	文化芸術活動の機会の提供	■丹波アートコンペティションを実施し、入賞者は植野記念美術館で展示する等、広く活動の場とモチベーション向上の機会を提供する。	文化・スポーツ課	継続	●第5回丹波アートコンペティション入賞・入選作品展(春日文化ホール)と同日に新人賞受賞者展を植野記念美術館で行い、美術館と連携しながら、若者に作品展示の場を提供し、若手育成を行う。	・新人賞受賞者展示館者数 159人(R4:206人) ・入賞作品展期間中の美術館主催展覧会「リニューアルオープン式典記念展 柏原ゆかりの近現代の作家たち」入館者数2,766人	B	B	B	B	丹波アートコンペティション入賞・入選作品展と同時開催で、植野記念美術館で新人賞受賞者作品展を実施する。 今後も、美術館と連携しながら、若手作家の活動支援、若手の育成に努める。
	若い世代を対象とした体験活動の機会の提供	■若い世代が気軽に参加できる機会を提供する。(アマチュアアーティスト育成支援事業バンドフェスタでのジュニアステージ等)	文化・スポーツ課、 丹波の森公苑	継続	●若い世代や一般市民が参加できる企画を4フェスタ毎に検討し、実施する。 ・バンドフェスタ:バンドフェスタ25t ・ピアノフェスタ:みんなのピアノフェスタ2023 ・ダンスフェスタ:ダンスフェスタACT-21 ・和太鼓フェスタ:第21打!和太鼓フェスタ ●ポスターデザインを募集し、フェスタを接点とした様々な文化芸術活動の交流の場づくりを行う。 ●丹波の森子どもミュージカル体験塾を開催する。(公財)兵庫丹波の森協会丹波の森公苑	・バンドフェスタ:バンドフェスタ25th／15バンド62名出演 ジュニアステージ(小学生～高校生以下)/14バンド61名 ・ピアノフェスタ:ピアノフェスタ2023 1部26名出演 2部36名出演 ・ダンスフェスタ:ダンスフェスタACT-X X I／10チーム157名 ・和太鼓フェスタ:第21打!和太鼓フェスタ/7チーム60名 ・チラシポスターイラストデザイン 画応募点数26点(R4:7点) (バンド4点(1)、ピアノ8点(2)、ダンス8点(1)、和太鼓6点(3)) 【(公財)兵庫丹波の森協会丹波の森公苑】 【丹波の森子どもミュージカル体験塾】 ・発表公演(10/15)656人／R4:660人	C	A	A	A	【丹波市】 アマチュアアーティスト育成支援事業は、バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓とも小学生から高校生が出演しており、若い世代が気軽に参加できる機会が提供できいる。 令和6年度以降は、ホール運営業務の受託業者である一般社団法人ネクストゼロへ委託し、継続してフェスタを実施していく。 【(公財)兵庫丹波の森協会丹波の森公苑】 引き続き、若い世代が参加できるミュージカル体験塾を開催する。
	市民主体で実施している取組への支援	■たんば青春俳句祭・田ステ女俳句ラリー等、市民が主体となって実施する文化的な取組がさらにまちづくりに繋がるように支援する。	文化・スポーツ課	継続	●丹波市俳句協会が実施する、丹波市に関わる著名俳人を顕彰と俳句文化の振興、定着を図るための事業を支援する。 ・5月 田ステ女俳句ラリー、11月 たんば青春俳句祭の開催。(全国規模での俳句募集) ・市内小中高等学校・特別支援学校での出張俳句教室。 ・会員、一般市民を対象とした俳句募集と表彰。 ・丹波の著名俳人を顕彰するため、俳人の紹介や句碑、句碑マップのパネル展示などを行う。	・第27回田ステ女俳句ラリー(5/14) ・第23回たんば青春俳句祭(11/18) ・出張俳句教室 延べ17校69回開催 ・俳句協会俳句募集 応募者数263人、投句数526句 ・会報誌「かたかご」の発行 ・丹波市俳句協会総会、田ステ女俳句ラリー、たんば青春俳句祭の会場にて、「丹波の俳人たち」及び「句碑・句碑マップ」のパネル展示実施	D	C	B	B	現在、会計事務は会員にて行われているが、職員による事務支援は引き続き行っており、会員が主体性を持って活動できるように支援していく必要がある。
	美術関連の講座の実施	■「友の会」との連携の中で美術関連の講座等を実施し、ガイドボランティア等の活動に繋げる。	社会教育・文化財課	継続	●「友の会」の美術館めぐり研修の前に、事前研修として視察予定の展覧会の内容について鑑賞講座等を開催してガイドボランティア等の活動に繋げる。	・初夏の美術館めぐり(京セラ美術館「ルーブル美術館展」、智積院宝物館)、秋の国内研修旅行(大阪中之島美術館)の実施にあたり、それぞれ視察展覧会の内容について、事前研修として資料を作成し、友の会会員の鑑賞意識の向上を行った。	D	B	B	A	今後も友の会と連携し美術関連講座等を実施し、文化芸術活動への参加促進と意識向上を行う。

令和5年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標2 文化芸術活動が活発に行える環境の整備を行う

施策の方向性			関係課 (集約・報告)	令和5年度		令和5年度		評価				課題と今後の方向性
				実施区分	取組内容	取組結果・実績数値		R2	R3	R4	R5	
基本方針③ 団体同士の連携・協働を行う。	団体の交流の場づくりの推進	■文化芸術サロン(交流の場)づくりを行う。	文化・スポーツ課	継続	●文化芸術に特化したサロンや研修会を実施する。	※未実施		D	D	D	D	文化芸術に関わる団体同士の交流の場がないため、交流の場を設け、そこから文化芸術活動を広げていけるよう検討する。
	展覧会等による利用促進	■春日文化ホールを展覧会の使用形態で無料開放し、分野を超えた団体が集う作品交流イベントを検討する。(仮称「丹波市文化芸術の日」事業)	文化・スポーツ課	継続	●比較的貸館の少ない時期に春日文化ホールを展覧会の使用形態で無料開放する「丹波市文化芸術の日」として事業立案準備を進める。 ●丹波市美術作家協会等、市域で活動する文化芸術団体と協議し、丹波市文化芸術の日事業に対する理解を深める。	・丹波市文化の日(無料開放)に関する協議 ※未実施 ・市域で活動する文化団体との協議 ※未実施		C	D	D	D	丹波市美術作家協会等、市域で活動する文化芸術団体と協議し、「丹波市文化芸術の日」事業に対する理解を深める必要がある。
基本方針④ 文化芸術を担う若手の芸術家の発掘・育成を行う。	文化芸術に関する交流の場づくりの推進	■文化芸術サロン(交流の場)づくりを行う。	文化・スポーツ課	継続	●文化芸術に特化したサロンや研修会を実施する。	【丹波アートコンペティション関連事業】 ・美術講座アートスパイス 1回実施/R4:1回(初心者向け写真講座) 平面講座:令和6年2月11日(日) 参加者 20名 【文化芸術体験講座「はじめての一步」】 ・全10講座開催 参加者数合計81名 (開催内容) 俳句講話、ランプシェード作り、竹細工作り、楽器体験、デザイン講座、はじめてのピアノ講座、よさこいソーラン講座、アコースティックギター講座、三味線講座、マンドリン講座		B	B	B	B	講座や講演会を通して、交流の場づくりを推進していく。広報、SNS等で周知し、多くの人の参加を促していく。 文化芸術体験講座「はじめての一步」では文化芸術については幅広いジャンルの講座を展開し、活動に向けて気軽に第一歩を踏み出せる機会を提供していく。
	若い活動者の発表・展示ができる環境の整備	■若手作家を紹介する仕組みや、作家のアトリエシリーズ等を企画する。	社会教育・文化財課	継続	●「友の会だより」に若手作家や作家のアトリエを紹介する記事を掲載する。	・丹波ゆかりの美術コンクール展やUEBI ART展の開催に合わせ、友の会だよりに作家や作品を紹介し掲載した。		A	A	A	A	今後も若手作家や丹波ゆかりの作家を紹介し、若手芸術家の発掘と育成を行う。
基本方針⑤ 市の中心地域に文化芸術の鑑賞・活動を行うことができる施設の整備を図る。	文化ホールの施設整備	■春日文化ホールが使用不能となり、また、ライフピアいちじまが老朽化により建替えの必要が生じた際に、市の中心地域に新たに文化ホールの建設も含めた検討を行う。(丹波市生涯学習施設整備方針[適正配置計画]※平成25年2月策定)	文化・スポーツ課	継続	●2ホールの適正な維持管理を行う。 ●備品購入、簡易な工事・修繕は、優先順位を決め、計画的に行う。 ●維持管理のために必要な保守点検業務は、分野ごとに一括発注する等、可能な限り合理化を図る。	・機器設備の定期保守点検や、計画的な簡易修繕を実施し安定した施設の維持管理を行った。 ・主な工事内容 ホールロビーダウンライトのLED化 【修繕】 ・春日 5件 ・市島 4件		A	A	A	A	定期的にホールの保守点検、点検による修繕を実施し、2ホールの適正な維持管理を行う。
	住民センターの施設整備	■「適正配置計画」に基づき、市民の日常的な生涯学習の場や地域づくり活動の場として、現行の施設の安定した維持管理を行う。	市民活動課	継続	●利用者の安全のため住民センターの適正な維持管理を行う。 ●大規模な工事・修繕は、優先順位を決め、計画的に行う。 ●維持管理のために必要な保守点検業務は、分野ごとに一括発注する等、可能な限り合理化を図る。 ●予防保全を基本とし、設備等の更新を計画的に実施する。	【工事・修繕】 ・工事9件 修繕120件 【保守点検等】 ・住民センターのほか、スポーツ施設や庁舎等の一部の保守点検業務について集約の上一括発注し、部全体として契約事務の効率化を行った。		B	B	B	B	各施設とも老朽化が進み設備等の不具合が多くなってきていることから、個別施設計画に基づき計画的に大規模改修、長寿命化工事を行っていく必要がある。 予防保全を基本として設備の更新を計画的に実施する。
基本方針⑥ 丹波市(県を含む)ならではの舞台芸術等に磨きをかける。	丹波市ならではの文化ホールイベントの開催	■本市の特徴的な分野やレベルに特化した取組をさらに進める。特にアマチュアアーティスト育成支援事業の各フェスタ(バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓)は「丹波市完全オリジナル企画」としてPR・開催する。	文化・スポーツ課	継続	●各種後援や協賛、協力依頼を行い、丹波市完全オリジナルな部分である「アマチュアの出演者、舞台スタッフ」による市民参画型のフェスタ」を全面的出した広域的な広報を積極的に行う。 【後援】丹波市教育委員会、丹波文化団体協議会、丹波市文化協会、丹波市音楽協会、丹波市観光協会、丹波新聞社、神戸新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、両丹日日新聞社 【協賛】藤本印刷㈱、(有)光陽堂楽器、(有)ロータリー楽器、(株)ハートラベル、(株)タンパンベルグ	・広報物の充実/ポスターデザインを一般募集し、各フェスタの宣材物のオリジナリティを高め、公共施設に配布した。 ・後援実績/丹波市教育委員会、丹波市文化協会、神戸新聞社、丹波新聞社 ・協賛実績/藤本印刷(R4:藤本印刷)		A	A	A	A	アマチュアアーティスト育成支援事業における、本市ならではのホール事業については、令和6年度以降、ホール運営業務の受託業者である一般社団法人ネクストゼロへ委託し、継続実施していく。また、事業のPR活動(ポスターやチラシの配布、新聞有料広告や広報誌への掲載など)は、担当課とネクストゼロで連携を図りながら引き続き行っていく。
	シューベルティアーデたんばの充実開催	■シューベルティアーデたんば(ガラ・コンサート)をより身近な取組として実施する。	丹波の森公苑	継続	●シューベルティアーデたんば「ガラ・コンサート」を実施する。	・ガラ・コンサート「ウイーンから愛のことづて」を令和5年11月12日(日)に丹波の森公苑ホールで実施。		D	A	A	A	引き続き、丹波地域において優れた音楽を身近で鑑賞いただけるよう「ガラ・コンサート」を開催する。

【評価】
A:実施済みで十分に成果を上げている
B:実施済みである程度成果を上げている
C:実施済みであるが、あまり成果が上がっていない
D:未着手又は実施が困難な状況であった

令和5年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標3 子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会を増やす

施策の方向性		関係課 (集約・報告)	令和5年度		令和5年度		評価				課題と今後の方向性
			実施区分	取組内容	取組結果・実績数値		R2	R3	R4	R5	
基本方針① 普段の生活の中で、子どもたちの記憶に残るような文化芸術鑑賞・活動を行う。	プロの演奏家との共演	■プロの演奏家を招き、子どもたちとの共演を行う。(プロの演奏家＋市内中学校吹奏楽部等の共演)	文化・スポーツ課	継続	●毎年恒例となったブラック・ボトム・プラス・バンド公演を市内中学校(2から3校に増やす)吹奏楽部とのコラボ演奏を行う。 ●公演前に、コラボ曲の演奏指導(ワークショップ)を行い、より充実した内容で実施する。市民参画型事業。	【県民芸術劇場BBBB】 10月15日(日)開催 ・コラボ演奏(当日)／氷上中33名、市島中14名、春日中20名 計67名/R4:氷上中26名、市島中18名 計44名 ・ワークショップ／コラボ演奏曲事前ワークショップ3回(各校1回)／R4:2回(各校1回)	A	A	A	A	優れた舞台芸術を身近に鑑賞できる機会として、今後も継続していく。また、プロの演奏家による演奏指導(ワークショップ)も継続して実施する。子供たちの記憶に残るような体験を提供し、文化芸術に対する意識を高めていく。 今後の課題として、参加校が増加した際の対応(出演者の制限、各校の楽器運搬など)や教育委員会との連携について、検討する必要がある。
	アマチュアアーティスト育成支援事業の推進	■アマチュアアーティスト育成支援事業の各フェスタ(バンド・ピアノ・ダンス・和太鼓)の取組を行う。	文化・スポーツ課	継続	●若い世代や一般市民が参加できる企画を4フェスタ毎に検討し、実施する。 ・バンドフェスタ:バンドフェスタ25t ・ピアノフェスタ:みんなのピアノフェスタ2023 ・ダンスフェスタ:ダンスフェスタACT-21 ・和太鼓フェスタ:第21打!和太鼓フェスタ	・バンドフェスタ25th／15バンド62名出演 入場者1部340名、2部270名、合計610名／R4:15バンド60名出演 入場者1部265名、2部268名、合計533名 ・ピアノフェスタ2023／1部26名出演・入場者106名、2部36名出演・入場者173名、合計62名出演・入場者279名／R4:1部25人出演・入場者154人、2部37人出演・入場者217人、合計62名出演・入場者371人 ・ダンスフェスタACT-X X I／10チーム157名出演 入場者534名／R4:9チーム127名出演 入場者610名 ・第21打!和太鼓フェスタ／7チーム60名出演 入場者528名／R4:6チーム69名出演 入場者444名	A	A	A	A	アマチュアアーティスト育成支援事業は、出演者と裏方スタッフが共に創り上げる事業となり、若い世代が参加することで身近で鑑賞しやすい環境となっている。 昨年度に引き続き、YouTubeでの限定ライブ配信を行い、会場に足を運べない関係者に対しても舞台を届けることができた。 今後も、若い世代や一般市民が参加できる4フェスタを継続して行う。
	子ども・若者対象のイベントの開催	■高校生企画(卒業ライブ)、ライブピアノDEクリスマス、0歳からのコンサート等、幼児から若者対象の取組をさらに進める。	文化・スポーツ課	継続	●子どもや若い世代を対象としたイベントを充実する。 ・高校生企画:卒業ライブ1事業 ・ライブピアノDEクリスマス:クリスマスコンサート1事業	・高校生企画「卒業ライブ」1事業／3月20日(水・祝) 来場者225人 ・ライブピアノDEクリスマス「クリスマスコンサート」1事業／12月24日(日) 来場者411人	B	B	B	B	高校生企画「卒業ライブ」と子どもを対象とした「クリスマスコンサート」は毎年実施し、定着している事業となっており、一定の効果を上げている。 0歳からのコンサート等も実施できるよう検討していく。 また、若い世代が興味を持って参加できるような取組を考える。
	シューベルティアーデたんばの充実	■シューベルティアーデたんば(街角コンサート)の充実を図る。	丹波の森公苑	継続	●シューベルティアーデたんば「街角コンサート」を実施する。	・街角コンサート実施会場10会場で実施	D	C	B	A	引き続き、丹波地域の方々に本物の音楽を身近で体感いただけるよう「街角コンサート」を開催する。
	美術館の団体観覧の充実	■学校単位の団体観覧だけでなく、PTA・子ども会行事等での観覧機会を増やし、学びの場を提供する。	社会教育・文化財課	継続	●学校単位の団体観覧だけでなく、PTA・子ども会行事等での観覧機会を増やし、学びの場を提供する。	改修工事のため、学校観覧は2校であったが、氷上子育て学習センターとの連携による「うえびでピクニック」の開催や一般社団法人am*maとの共同開催による作品展を開催し、子どもたちの文化芸術鑑賞を促進した。	B	B	B	A	今後も子どもたちや家族、団体で参加・鑑賞しやすい企画展を開催するとともに、地域学習・芸術に触れあうプログラムとして、学校や団体に積極的に周知する。
	伝統文化や伝統芸能への子どもが参加できる環境整備	■地域づくり事業を通じて、伝統文化や伝統芸能の継承を行い、子どもたちが積極的に参加できるよう、地域との関わりをさらに充実させる。	文化・スポーツ課 ※各団体 ※各地域	継続	●伝統芸能に係る講座などを実施し、子どもたちが積極的に参加できるようなプログラムにする。	歴史文化体感フェスタ(主催:歴史文化体感フェスタin丹波実行委員会、共催:文化・スポーツ課)を開催し、子どもたちを対象とした日本の伝統文化に関する体験講座(黒井おどり、雅楽、華道・茶道、丹波杜氏麴文化、香道)を開催した。	D	D	D	B	伝統芸能や、伝統文化の保存、継承していくために、子どもたちや若い世代が参加できる講座を開催した。 今後も伝統芸能や伝統文化を保存、継承していくための取組を継続していけるよう検討する。
基本方針② 学校教育で、優れた文化芸術に身近に触れ、感じる力(まごころ・愛着・想像力・創造力)を育む。	アーティストの学校への派遣	■シューベルティアーデたんば等で学校へのアーティストの派遣をさらに充実させる。 小学生:ふるさと音楽ひろば 中学生・高校生:キン・コン・カンコンサート	(公財)兵庫丹波の森協会 丹波の森公苑	継続	●シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」「キン・コン・カン・コンサート」を実施する。	・ふるさと音楽ひろばを丹波地域の小学校10校で実施(丹波市内8校、丹波篠山市内2校) ・キン・コン・カンコンサートを丹波地域の中学校・高等学校1校で実施(丹波市内1校、丹波篠山市内1校)	B	A	A	A	引き続き、丹波地域の子どもたちに本物の音楽を身近で体感いただけるよう「ふるさと音楽ひろば」「キン・コン・カン・コンサート」を開催していく。
	子どもの音楽体験教室・鑑賞事業の実施	■文化庁による「文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣・巡回指導)」を活用するとともに、中学生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」に取り組む。	学校教育課	継続	●文化庁による「文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣・巡回指導)」を活用するとともに、中学生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」に取り組む。	・文化庁「文化芸術による子供育成推進事業(芸術家の派遣・巡回公演事業)」市内小学校2校(R4:2校) ・わくわくオーケストラ教室実施校 市内全中学校(6校)	D	B	B	B	文化庁の事業は、昨年度と同様の実績数値であるが、コロナ禍以前と比較すると減少傾向にある。芸術家との調整や申請書類の作成等が学校の負担となり、希望校が減少している可能性がある。 わくわくオーケストラ教室は、移動にかかるバスの確保に課題はあるが、95%以上の生徒が参加して良かったと回答しており、有用な事業として継続していく。
	ふるさと教育の充実	■たんばふるさと学(生活科・総合的な学習の時間等)の充実を図る。	学校教育課	継続	●学校支援コーディネーターを中心に、各小学校で実施時期や方法を工夫し、実施する。 ・地域のゲストティーチャーから「ふるさと良さ」を学ぶ。	・各小学校で実施時期や内容を工夫しながら地域人材が活躍できる場面を設定することができた。 ・総合的な学習の時間を中心に、地域の伝統芸能や祭り、歴史等についてゲストティチャーから学ぶ機会をえることができた。 【指標】 ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。68.3% ※R4から質問内容が一部変更	B	B	B	B	新型コロナウイルス感染症が感染症法上の第5類の扱いとなり、児童生徒が地域に関わるが増え、地域について考える機会を持てた。指標についても、昨年度の類似質問項目と比較し、高い結果となっており、今後も地域のゲストティチャーに学ぶ機会を確保していく。 学校統合により、校区が広がった小学校において、地域学習にかかる校外活動を行うにあたっての移動距離や時間の確保が課題となっている。スクールバスや公用バスを利用するなど、工夫に努める。
	社会科副読本を活用した地域学習の充実	■社会科副読本(わたしたちの丹波市)を活用し、社会科学習において地域学習の充実を図る。	学校教育課	継続	●副読本を活用するとともに地域にある伝統芸能、歴史、文化等、文化芸術を題材とした学習内容を充実させる。	・地域の伝統芸能、歴史、文化等、文化芸術の学習に副読本を活用した小学校 21校 (R4: 22校) ・小学校4年生において地域の伝統芸能、歴史、文化等、文化芸術に関わる授業を行った時間数 12時間 (R4: 12時間)	B	B	B	B	社会科副読本や子ども向け市勢要覧「知っとっこお?丹波市ハンドブック」を活用し、本市の現状にあった学習内容を学ぶことができるため、より効果的に指導していくための教職員の指導力向上を図っていく。 社会科副読本を令和2年度に全面改訂しているが、6年ほどが経過するため、内容の一部改訂を検討する。

令和5年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標3 子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会を増やす

施策の方向性			関係課 (集約・報告)	令和5年度		令和5年度		評価				課題と今後の方向性
				実施区分	取組内容	取組結果・実績数値		R2	R3	R4	R5	
基本方針③ 子育ての過程で、親子で文化芸術に親しむために取組を進める。	文化芸術と子育てに関する研修会・講演会の開催	■子育てをする上で「文化芸術の鑑賞等が非常に大きな力となる」ことを伝える研修会・講演会を開催する。	文化・スポーツ課 ※子育て支援課	継続	●文化芸術に特化したサロンや研修会を実施する。 ・子育て世代対象：講演会を実施する。	※未実施		D	D	D	D	子育てをする上で「文化芸術の鑑賞等が非常に大きな力となる」ことを伝えるための研修会や講演会を実施を検討する。
	親子で参加し交流できる場づくりの推進	■20代～30代の子育て世代が子どもと一緒に交流できるような文化芸術サロン(交流の場)づくりを行う。	文化・スポーツ課 ※子育て支援課	継続	●文化芸術に特化したサロンや研修会を実施する。 ・子育て世代対象者：親子で体験や交流ができるような場づくり参加型音楽コンサートを開催する。	・子育てアートサロン「親子で楽しむふれあいコンサート」1回実施 8/18 市内全域 親子30組88名(春日文化ホール) R4:3/2 市民プラザ 親子25組51名 3/10 丹波の森公苑 多目的ルーム 親子28組58名		B	B	A	A	20代～30代の子育て世代の親子と一緒に交流できる場を提供することができた。今後も音楽コンサートで、子どもや若い世代が文化芸術に親しむ機会を提供するとともに、親子で文化芸術を体験できる機会も検討していく。

【評価】
A:実施済みで十分に成果を上げている
B:実施済みである程度成果を上げている
C:実施済みであるが、あまり成果が上がっていない
D:未着手又は実施が困難な状況であった

令和5年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標4 観光・まちづくり等への有機的な連携を進める

施策の方向性			関係課 (集約・報告)	令和5年度		令和5年度		評価				課題と今後の方向性
				実施区分	取組内容	取組結果・実績数値		R2	R3	R4	R5	
基本方針① 伝統芸能・伝統文化等の保存・継承・活用を行う。	保存・継承に対する理解の促進	■若い世代へ祭り等の意義等を伝承し、保存・継承を行う。	文化・スポーツ課 ※関係団体 ※各地域	継続	●伝統芸能や、伝統文化の保存、継承していくために、若い世代に関心を持ってもらえるような講演会や講座などを開催する。	歴史文化体感フェスタ(主催:歴史文化体感フェスタin丹波実行委員会、共催:文化・スポーツ課)を開催し、子どもたちを対象とした日本の伝統文化に関する体験講座(黒井おどり、雅楽、華道・茶道、丹波杜氏麴文化、香道)を開催した。		D	D	D	B	伝統芸能や、伝統文化の保存、継承していくために、子どもたちや若い世代が参加できる講座を開催した。 今後も伝統芸能や伝統文化を保存、継承していくための取組を継続していけるよう検討する。
	地域への参画	■職員自らが一人の市民として積極的に地域に参画・貢献する。	文化・スポーツ課 ※市職員	継続	●地域の伝統芸能や伝統文化の保存、継承のため、職員が一人の市民として積極的に地域に参加・貢献できるようなメニューづくり。	・地域の伝統芸能や伝統文化の保存、継承のため、職員が一人の市民として積極的に地域に参加・貢献できるようなメニューづくり。 ※未実施		D	D	D	D	職員自らが一人の市民として積極的に地域に参画・貢献できるような取組を検討する。
	伝統芸能・伝統文化の活用	■若い世代が参加しやすい環境の整備を行い、伝統的な芸能や文化を大切に活用する。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※各種団体 ※各地域	継続	●団体や地域を対象としたアンケート調査による活動集約	・団体や地域を対象としたアンケート調査による実績集約 ※未実施		D	D	D	D	若い世代が参加しやすい環境の整備、伝統的な芸能や文化の活用について検討する。
	伝統芸能・伝統文化の観光資源としての活用	■伝統芸能・伝統文化等の魅力に磨きをかけ、観光資源として活用する。	観光課 ※観光課他	継続	●市の玄関口である道の駅丹波おばあちゃんの里から観光客の市内周遊を促進させる観光パンフレット(「道の駅からのよりみち旅」)の時点修正、増刷し、配架(観光課) ●丹波市観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの積極的な情報発信 ●丹波市観光協会HPでの積極的な情報発信	・市の玄関口である道の駅丹波おばあちゃんの里から観光客の市内周遊を促進させる観光パンフレット(「道の駅からのよりみち旅」)の時点修正、増刷し、配架(観光課) ・丹波市観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの積極的な情報発信 ・丹波市観光協会HPでの積極的な情報発信		B	B	B	B	観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの情報発信を行ったが、SNSでの発信回数を増やし積極的に情報発信をしていく必要がある。
基本方針② 文化財(技術を含む)の保存・継承・活用を行う。	文化財等の保存・継承・活用	■文化財等を積極的に活用することで、保存・継承に繋げる。	社会教育・文化財課 ※各地域	継続	●歴史文化遺産を次世代に継承していくため、古文書などの歴史資料の調査を行う。	神戸大学大学院人文学研究科との連携により、地域に残る古文書等の調査を行った。 ・歴史資料調査実施数 R5: 5件／R4: 7件／R3:13件		A	A	A	A	今後も継続して古文書などの歴史資料の調査を行い、資料の保存・継承に務める。
	文化財等の観光資源としての活用	■文化財等の魅力に磨きをかけ、観光資源として活用する。	観光課 ※観光課他	継続	●丹波市観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの積極的な情報発信 ●丹波市観光協会HPでの積極的な情報発信 ●お城EXPO(於:姫路市)に出展し、黒井城跡や他の城跡の魅力を全国に発信	・丹波市観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの積極的な情報発信 ・丹波市観光協会HPでの積極的な情報発信 ・お城EXPO(於:姫路市)に出展し、黒井城跡や他の城跡の魅力を全国に発信		B	B	B	B	観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの情報発信を行ったが、SNSでの発信回数を増やし積極的に情報発信をしていく必要がある。
	文化財等を活かした作品等の集積・展覧	■丹波布や稲畑人形等の文化財を活かした特徴ある展覧会を企画し、保存・継承へと繋げる。	社会教育・文化財課 ※関係団体	継続	●文化財を活かした企画展を開催する。	柏原・春日歴史民俗資料館において企画展を実施した。 ・柏原歴史民俗資料館(柏原藩陣屋跡) 企画展 2回 ・春日歴史民俗資料館企画展 1回 ミニ企画展 2回		B	B	A	A	他館と連携しながら様々な企画展を開催する。
	資料館の整理統合	■水分け資料館のリニューアルの実施、並びに各資料館の整理統合と併せて、市内に点在する文化財等の保存の充実を図る。	社会教育・文化財課	継続	●資料館統合に向けての民具の目録作成を行なう。	・春日郷土資料館、市島民俗資料館の民具の目録を作成した。		A	A	B	A	民具の目録作成は完了したが、それ以外の収蔵資料についても目録の整備を進める必要がある。
	文化財保護の意識高揚	■歴史遺産を残していくために、市民の関心や保護意識の高揚を図る事業を展開する。(文化財保存活用地域計画の策定等)	社会教育・文化財課	継続	●市民に対し、身近な地域の歴史遺産に触れる機会を提供する。 ・調査結果に基づく歴史講座の開催 ・企画展関連講座の開催 ●文化材保存活用理域計画策定に向けた検討・調査を進める。	・企画展に関連した講演会を開催した。「片山桃史の戦争俳句」講師 足立幸信氏 参加者61名 ・慧日寺の美術工芸品調査を実施した。		B	B	A	A	今後も身近な地域の歴史遺産に触れる機会を提供するため、大学や地域、団体と連携して歴史講座を開催する。 また、引き続き慧日寺の美術工芸品調査を継続する。
	文化財等の保存・整備事業への支援	■文化財等の保存・整備に対する補助金交付施策の充実を図る。	社会教育・文化財課	継続	●指定文化財保存整備事業を実施する。	指定文化財保存整備等の補助事業数 R5:11事業／R4:3事業／R3:2事業		D	B	B	A	今後も要望のあった補助事業等について補助金を交付し、文化財の適切な維持管理ができるように支援する。

令和5年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標4 観光・まちづくり等への有機的な連携を進める

施策の方向性			関係課 (集約・報告)	令和5年度		令和5年度		評価				課題と今後の方向性
				実施区分	取組内容	取組結果・実績数値		R2	R3	R4	R5	
基本方針③ 文化的資源を新たに発掘・活用する。	文化的資源の観光資源としての活用	■新たな文化的資源を発掘すると共に、磨きをかけ、観光資源として活用する。	観光課 ※観光課他	継続	●市の玄関口である道の駅丹波おばあちゃんの里から観光客の市内周遊を促進させる観光パンフレット(「道の駅からのよりみち旅」)の時点修正、増刷し、配架(観光課) ●新たに「丹波青もみじめぐり」の事業を実施することにより、秋の紅葉だけでなく、新緑の魅力を観光資源として磨き上げるとともに市内周遊を促す。(丹波市観光協会)	・市の玄関口である道の駅丹波おばあちゃんの里から観光客の市内周遊を促進させる観光パンフレット(「道の駅からのよりみち旅」)の時点修正、増刷し、配架(観光課) ・新たに「丹波青もみじめぐり」の事業を実施することにより、秋の紅葉だけでなく、新緑の魅力を観光資源として磨き上げるとともに市内周遊を促す。(丹波市観光協会)		B	C	C	C	恒例イベントだけでなく、地域の魅力を積極的にPRするための仕掛けをしていく必要がある。
	歴史的な建物等の活用	■歴史的な建物や街なみを活用したアート展等の開催を検討する。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※各種団体 ※各地域	継続	●団体や地域を対象としたアンケート調査による活動集約	※未実施		D	D	D	D	地元の方や関係団体がどのようなことを望まれているかなどを聞いて、どう進めていくかを検討する必要がある。 柏原や青垣地域など歴史的な建物や街なみを活用したアート展などを開催できるよう、地元の方や関係団体との話し合いが必要である。
	文化的資源の学習機会の検討	■気軽に文化的資源を観ることができる学習機会を企画・検討する。	市民活動課 ※市民活動課他	継続	●無形文化財である丹波布の技術について市内外にPRするとともに、親しみも持ってもらえるよう、以下の事業を実施する。 ・丹波布短期体験教室(9/14～9/18) ・糸紡ぎ体験、織り体験(通年)	無形文化財である丹波布の技術についてのPRや親しみを持ってもらう機会として以下の体験教室を開講した。 ・丹波布短期体験教室(9/14～9/18) 10人 ・糸紡ぎ体験、織り体験 延96人		D	B	B	B	市の無形文化財である「丹波布の技術」を市内外にPRするとともに、気軽に参加できる体験教室を開催し、丹波布伝承館への来館者増を図る。
	文化的資源の情報提供の仕組みの検討	■市民リポーターから文化的資源(景観・祭り・人等)の情報提供を得る仕組みを検討する。(例:インスタ映えスポット)	総合政策課 ※総合政策課他	継続	●市民リポーターに文化的資源(景観・祭り・人等)の情報の提供を依頼する。	・市民リポーターを活用した情報提供を実施しなかった。※未実施		B	B	B	D	市民リポーターの対象や提供いただく内容等の見直しを図り、市の魅力発掘と発信に向けて持続可能な方法を検討する。
	芸術家・文化人の顕彰	■ゆかりの深い芸術家・文化人の作品展示や活動紹介等により顕彰を行う。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※各種団体 ※各地域	継続	●丹波市ゆかりの芸術家や文化人の作品や活動内容等を調査集約する。	※未実施		D	D	D	D	アーティスト、地元の方や関係団体がどのようなことを望まれているかなど声を聞いて、どう進めていくかを検討する必要がある。 芸術家、文化人を顕彰するとともに、まちづくりもいっしょに進めていけるような取組を考える。
基本方針④ 情報発信を積極的に行う。	ビデオを活用したプロモーションの実施	■ビデオ媒体を活用し、本市の多様な文化芸術のPRを行う。	文化・スポーツ課	継続	●文化芸術推進プロモーションビデオ等を各住民センター、美術館、資料館等で放映する。	・文化芸術推進プロモーションビデオに加え、ホール事業のPRビデオを随時放映。		A	A	A	A	文化芸術推進プロモーションビデオに加え、ホール事業のPRビデオを随時放送している。 ホール事業のPRビデオについては、新しい映像に更新していく必要がある。
			観光課	継続	●道の駅丹波おばあちゃんの里の観光情報センターや柏原一番館、観光課で放映し、併せてYouTubeでも掲出を継続する。 ・丹波市観光プロモーション映像をYouTube広告を掲出する(40,000回)	・道の駅丹波おばあちゃんの里の観光情報センターや柏原一番館、観光課で放映し、併せてYouTubeでも掲出をした。 ・丹波市観光プロモーション映像をYouTube広告を掲出した(視聴回数44,571回)		B	A	A	A	映像の掲出でPRが行えた。特にYouTube広告では予定していた視聴回数以上の視聴があり、丹波市の魅力を多くの方に観てもらえた。
	情報発信手段の検討	■新たな情報発信手段を検討する。	丹波市:総合政策課、文化・スポーツ課、観光課他 丹波市教育委員会:植野記念美術館、社会教育・文化財課	拡充	【総合政策課】 ●広報たんば、市ホームページリニューアル、SNS連携、防災行政無線放送、FM805たんば、報道関係者への資料提供で情報発信する。	【総合政策課】 ・市ホームページのリニューアルにより、見やすいカテゴリ設定やID検索機能の追加、SNSとの連携、スマホでも閲覧しやすいワンカム型のデザインの導入を行った。また、広報たんば、公式LINEやフェイスブック、防災行政無線放送、FM805たんば、報道関係者への資料提供など、積極的に情報発信を行った。		B	B	B	A	ホームページのリニューアルでより便利になったCMS機能を効果的に活用するとともに、SNS連携や公式LINEの活用など他市の事例を研究し、より多くの人に届く情報発信を行う。
				継続	【文化・スポーツ課】 ●Youtubeによる丹波アートコンペティションネットギャラリー動画配信。	【文化・スポーツ課】 ・Youtubeによる丹波アートコンペティションネットギャラリー動画配信。		A	A	A	A	引き続き、丹波アートコンペティションの作品展示の様子を「ネットギャラリー」として、動画配信を行う。
				継続	【観光課】 ●観光サイト「SaturdayTamba」のInstagramで、積極的に丹波市の情報発信。	【観光課】 ・観光サイト「SaturdayTamba」のInstagramで丹波市の情報を発信した。		B	B	B	B	観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの情報発信を行ったが、SNSでの発信回数を増やし積極的に情報発信をしていくことが必要である。
				継続	【社会教育・文化財課(植野記念美術館)】 ●美術館や展覧会の展示作業等を紹介する動画を制作し、YouTubeによる配信を行う。	【社会教育・文化財課(植野記念美術館)】 ・R5展覧会やイベントのダイジェスト動画3本、ショート動画4本を配信したほか、過去丹波市教育委員会アカウントに投稿していた過去の展覧会の動画4本を、植野記念美術館アカウントで再配信を行った。		B	B	B	A	今後も美術館における取組を動画や各種SNSを積極的に活用して紹介し、市民の芸術文化活動を促進する。
				継続	【社会教育・文化財課】 ●歴史講座の動画配信	【社会教育・文化財課】 歴史講座開催を開催し、Youtube動画で配信した。(6回)		B	A	A	A	今後も歴史講座を開催するとともに、講座受講ができなかった方のための動画配信を行い、身近な地域の歴史遺産に触れる機会を提供する。

【評価】
A:実施済みで十分に成果を上げている
B:実施済みである程度成果を上げている
C:実施済みであるが、あまり成果が上がっていない
D:未着手又は実施が困難な状況であった